

# 英語科学習法

## 1. 先生からのメッセージ

私たちの生活と英語は、以前に比べ身近になってきました。たくさんの外国人観光客が日本を訪れ、自ら外国へ行かなくても、日本にいながらにして、外国人とふれあう機会は多くなりました。また、オリンピックが東京で開催することが決定したことによって、今後さらに多くの外国人が日本に来ることが予想されます。このように、これからますます英語が近いものになる中で、皆さんには英語を使える力が必要とされます。

また、英語を使うことができると、仕事を選ぶときや将来の生活を考えるときより多くの選択肢から選ぶことができます。さらに、世界には英語を話す人がかなり多く、英語は「世界の共通語」と呼ばれるほどです。したがって、英語が使えると、お互い相手の母語は話せなくても英語でコミュニケーションをとることができます。

さらに、英語を学習することによって、他国の文化や生活習慣を理解し合うことができます。誤解のないように話し合い仲良くつき合うために、「ことば」は大切なものです。平和な世界をめざして本当の「国際理解」をするためにも、外国語の学習はとても重要な働きをしています。そして、他国の文化や風習を知り学ぶことを通して、日本の文化や風習、良さも再発見することができます。

## 2. 学校での授業の受け方

- 1 授業内では積極的に、できるだけ英語を使いましょう。(特に聞く・話す)
- 2 授業では次のような流れで行われます。

◇重要な表現(文法・単語熟語)の習得と理解  
◇教科書の内容理解  
◇音声面(発音・アクセント・イントネーション・リズム)の練習  
◇自己表現(英作文・インタビュー・スピーチなど)の練習

4技能を  
バランスよく  
伸ばして  
いきます。

ノートは、後で見返したときに内容がわかるよう正確に写しましょう。

### ③ 学習のアドバイス

#### 読む・書く

英文は、意味を持った語のかたまりなのでいくつかに切り、後ろから訳すのではなく前から意味のかたまりごとに理解していくことが大切です。

(例) I / like / music and tennis / very much.

私は/好きです/ 音楽とテニスを / とても / と読みます。

#### 聞く

リスニングの時は、メモをとりながら全部聞き取れなくても、キーワードに注意して要点が理解できるように心掛けましょう。

#### 話す

英文の発音・イントネーションに注意して発音し、英語のリズムを体得しましょう。

～「言葉は音声から」という原点を忘れないように～

## 3. 家庭学習のしかた

- 1 まず、宿題をしましょう。(英単語・基本文は完全に覚える・ワークやプリントなどで定着させる)
- 2 習ったことを何度も音読しましょう。(意味を結びつけながら)
- 3 その文型を使って、自分なりに自己表現してみましょう。

※その他学習を深めるために

英語の歌・映画・アニメ・漫画、ラジオテレビの英語講座、ALTとの会話・手紙など